

令和8年度 市政報告会・ 意見交換会 を開催しました

6〜8月に「令和8年度市政報告会・意見交換会」が市内10会場で開催され、432人の皆さんが参加しました。当日、市長から説明した概要について紹介します。

問い合わせ 秘書広報課 中田 ☎(23) 0052

第3次総合計画では、まちづくりの理念を「RIDE ON MAKINOHARA 夢に乗るまち 牧之原」とし、▼富士山型ネットワークの充実▼ゼロカーボンと経済成長の好循環の実現▼日本一女性にやさしいまちの推進▼DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進▼次代を切り拓く力を育む新たな学校づくりの5つの重点戦略・プロジェクトを掲げています。

や観光振興、地域経済の活性化につなげています。

開駅1周年を迎えた道の駅「そらつと牧之原」は、新たなにぎわいを創出する拠点として空港周辺地域の活性化につながっています。

移住・定住促進補助事業については、子育て世帯への助成や、本市の特色を生かした移住促進の取組を説明しました。さらに、約15キロメートルの海岸線を生かして沿岸部の活性化を図り、関係人口や交流人口の拡大を通じ、定住人口の増加につなげていきます。

◆戦略1 富士山型ネットワークの充実

相良牧之原IC北側整備事業について、令和10年度のまちびらきを目指した今後の事業計画を説明しました。また、多目的体育館「GasOneアリーナ牧之原」や、一部芝生化した相良総合グラウンドの整備が完了し、大会誘致やスポーツ合宿補助金も活用することで、施設利用者の増加

◆戦略2 ゼロカーボンと経済成長の好循環の実現

荒廃農地の収益化と環境にやさしい農業の推進を目指すオーガニックまきのほら推進事業や、市の地域資源を活用して地域の課題解決を図るスタートアップ企業の誘致と定着の支援に取り組んでいます。新規企業立地は、今年度も2社が稼働予定となっています。

◆戦略3 日本一女性にやさしいまちの推進

子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、国が行う子育て支援策に加えて、市独自の入学支援金の支給や、先進的医療分に適用できる不妊治療の助成を行っています。

また、こどもの居場所や子ども食堂を支援するとともに、子育て世代の女性の活躍を支援する「月3万円ビジネス」も引き続き行っています。

◆戦略4 DXの推進

オンラインでの予約・決済やスマートロックにも対応した「公共施設予約システム」を導入し、市民の利便性向上につながっています。

市役所の閉庁日である土日・祝日や夜間でも、マイナンバーカードを利用して各種証明書を取得できる「コンビニ交付サービス」の利用件数も年々増加しています。

◆戦略5 次代を切り拓く力を育む新たな学校づくり

学校再編事業について、榛原地域では義務教育学校の開校に向けた準備を進めています。相良地域では、埋蔵文化財の発掘調査を行っており、両地域とも令和12年度から15年度までの開校を目標に、計画



4月から運用を開始した牧之原警察署榛原出張所

的に準備を進めています。広域行政の1市2制度の解消に向けた取組として、牧之原消防署榛原出張所の開所や老朽化した市内2つの火葬施設の整備、ごみ処理施設の集約化、榛南水道と大井川広域水道の統合について説明しました。

最後に、令和9年度から12年度までの第3次総合計画後期基本計画について、現在の5つの重点戦略・プロジェクトに「安心安全で健康に暮らせる地域づくり」を新たに加え、将来にわたり安心して暮らせるまちづくりを進めていくことを説明しました。

各会場での意見と回答などは市ホームページをご覧ください。

田沼意次 顕彰展

「意次と定信」

海開く相良と陸結ぶ白河」展

問い合わせ

社会教育課 長谷川

☎(53) 2626

市史料館では、8月15日から12月27日まで、田沼意次顕彰展「意次と定信」海開く相良と陸結ぶ白河」展を開催しています。

4月25日から6月7日まで、「かたじけ茄子!田沼意次」展を開催しましたが、今回の展示では、観光文化交流協定を締結した福島県白河市からの協力を得て、意次侯のライバルとされた松平定信公やその居城・小峰城に関する展示を追加し、内容を改良しました。



▲展示している奥州白河城下全図(画像提供:白河市)



▲御城印「相良城と小峰城」顔はめパネル

期 間 8月15日(日)~12月27日(日)
※田沼家ゆかりの名刀「七曜霊光正清」特別公開は9月29日(日)~11月8日(日)
時 間 午前9時~午後4時
会 場 市史料館2階
休館日 月曜日・祝日の翌日



▲顔はめパネルで記念撮影をする来場者



▶再公開する、田沼家ゆかりの名刀「七曜霊光正清」